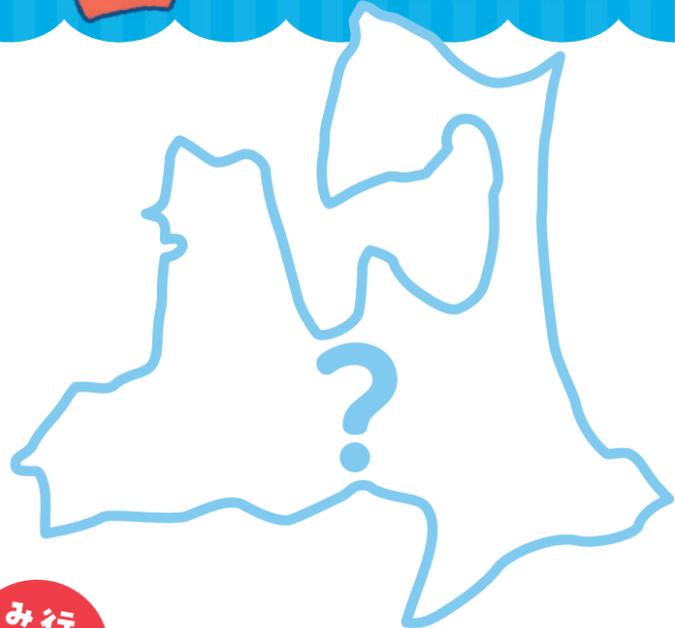




この都道府県はどこでしょう？



海面下 140m に 鉄道の駅がある県。



み行い
よう
て



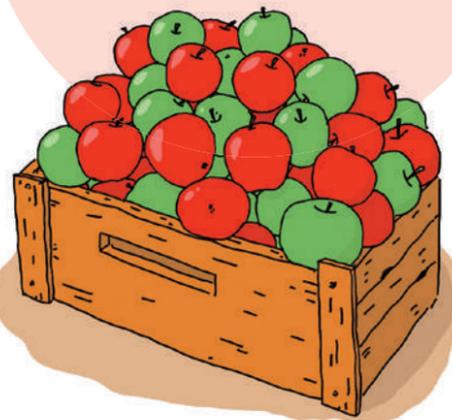
「ねぶた」は 県を代表する七夕祭り

「青森ねぶた祭」(青森市)、「弘前ねぶたまつり」(弘前市)、「五所川原立佞武多」(五所川原市)、「黒石ねぶた祭り」(黒石市)が有名。巨大灯ろうは歴史や神話が題材で、五所川原立佞武多は高さ23mのものがある。



リンゴの生産量 日本一

1年間の収穫量▶40万9800t、全国シェア58.4% (2019年)。
さいばい面積1万9700ha、10haあたりの収穫量2080kg、出荷量37万1800tも日本一。



「おどろく」は 「目が覚める」こと

そのほかにも

- ありがとーごし (ありがとうございます)
- とろげる (かた 片づける)
- へば (それじゃあ)
- けっぱれ (がんばれ)
- けんど (みち 道)

直径2mの6つの穴は、大型掘立柱建物の柱のあと。



三内丸山遺跡は 日本最大級の縄文遺跡

三内丸山遺跡は、約5900年前～約4200年前の縄文時代の集落あと。面積は約35万㎡で、高さ約15mの大型掘立柱建物の柱あとなどがみつかった。集落は約1500年続いたと考えられている。



海底にある「体験坑道駅」は 世界一低い場所にある駅

青函トンネル竜飛斜坑線(ケーブルカーが運行)の体験坑道駅は、海面下140mにある。



県民の大定番 「イギリストースト」

県内のほとんどの百貨店、スーパー、コンビニに置かれている人気商品。県内のパンメーカーがつくる、独自開発のマーガリンとグラニュー糖を食パンではさんだもの。



『走れメロス』 『人間失格』を書いた 太宰治



現在の五所川原市生まれの小説家。小学校を首席で卒業し、16歳のころに小説やエッセイを書き始めた。代表作に故郷をえがいた『津軽』や『御伽草子』、『富嶽百景』などがある。

そのほかにも 棟方志功(版画家、青森市)、寺山修司(劇作家、歌人、三沢市)、馬場のぼる(漫画家、絵本作家、三戸町)、野崎孝(アメリカ文学者、翻訳家、弘前市)など。



日本一雪が積もる空港は、 除雪おくれによる欠航ゼロ

青森空港周辺は、冬は積雪10mをこえることもある豪雪地帯。除雪隊「ホワイトインパルス」が隊列を組んで、東京ドーム12個分の空港を40分で除雪する。



正解は



海面下 140m に駅がある

青森県

本州のいちばん北にある県。県の中央を縦に奥羽山脈が走っていて、その東側が「南部地方」、西側が「津軽地方」とよばれる。県の南西部にある白神山地には世界最大級のブナ原生林があり、世界遺産に登録されている。農業が盛んで、とくにすずしい気候を生かしたリンゴの生産量は全国の約半分をしめ、海外へも輸出している。



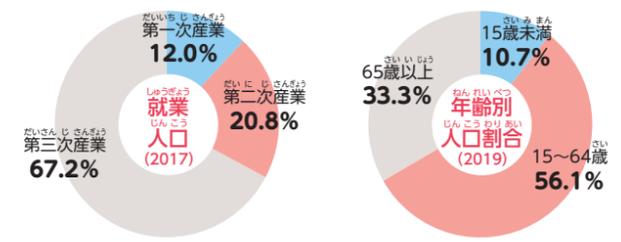
県の地形を図案化。白地は無限に広がる宇宙世界を、深緑色は発展し続ける未来と希望を表現している。

- 青森県の基本データ**
- 県庁所在地 青森市
 - 面積 9646km² (8位)
 - 人口 127.6万人(31位)
 - 人口密度 132.3人/km² (41位)
 - 市町村数 市10、町22、村8
 - 県の花 リンゴの花
 - 県の鳥 ハウチョウ
 - 県の木 ヒバ
 - 県の魚 ヒラメ

- 気候**
- 年平均気温 10.4℃
 - 年間降水量 1300.1mm
- 産業**
- 県内総生産 4兆4432億円 (33位、2017年度)
 - おもな産業 リンゴ、ニンニク、ゴボウなどの農業、ホタテガイ養殖、水産品のかんづめ、半導体・IC測定器、小型モーター、コネクタなど
- 小学校の数** 282校 (2019年度)

読めるかな？
難しい地名いろいろ

- 雲谷 (もや)
- 小比内 (さんびない)
- 温湯 (ぬるゆ)
- 不魚住 (うおすまず)
- 一日市 (ひといち)



青森県のここがじまん!

- 日本一**
- ニンニク、ゴボウの生産量
 - ▶ニンニク1万3900t、全国シェア67%
 - ゴボウ5万1400t、全国シェア37.6% (2019年)
 - 天然ヒバ▶日本全土に分布するヒバ林の80%以上
 - パンティストッキングの生産量
 - ▶3487万6000足、全国シェア19.0% (2018年)
 - サバ缶の生産量
 - ▶2万8185t、全国シェア44.6% (2018年)
 - 1年間で青森市の各家庭が温泉・銭湯に使う金額▶4816円(2019年)
 - 1年間で青森市の各家庭が焼き鳥に使う金額▶4122円(2017年~2019年平均)
 - 1年間で青森市の各家庭がカップめんを使う金額と量▶6115円、5422g (2017年~2019年平均)
 - 1年間で青森市の各家庭がサケを買う量▶3995kg (2017年~2019年平均)
 - 日本最長の陸上鉄道トンネル▶八甲田トンネル全長26.455km
 - ジャンボこけし▶高さ4.219m

- 砂丘の面積の広さ▶猿ヶ森砂丘(総延長南北約17km)
- 風力発電の設備容量▶41万7463kW、国内容量の約12% (2018年3月末現在)
- 養殖ホタテガイ発祥の地▶平内町
- リンゴ「ふじ」の発祥地▶藤崎町
- 下北半島にすむニホンザルは、世界一北にすむサル
- 本州最北端の新幹線の駅▶奥津軽いまべつ駅
- 弘前公園には、日本最古(1882年植樹)で幹周りが日本一大きい(5m37cm)ソメイヨシノがある
- 大間町で水揚げされる「大間マグロ」は、2019年の築地市場の初競りで、1ぴき3億3360万円だった
- シジミの漁獲量が島根県に次いで、ほぼ毎年2位

- 祭り** 弘前公園の「弘前さくらまつり」(弘前市)、豊作を願う3つの神社のみこし行列と27台の山車が見どころの「八戸三社大祭」(八戸市)、商売繁盛と海運の安全を願う「白八幡宮大祭」(鱈ヶ沢町)など。
- 名所** 眼鏡をかけたような土偶が出土した「亀ヶ岡遺跡」(つがる市)、総ヒバづくりで約160畳の広さがある酸ヶ湯温泉の「ヒバ千人風呂」(青森市)、山全体が霊場の「恐山」(むつ市)、巨岩や奇岩が並ぶ「仏ヶ浦」(佐井村)、秋田県にまたがる世界遺産の「白神山地」など。

- 名産品** 津軽地方で生まれた太くて重い太棒を使った「津軽三味線」、「津軽塗」、スペースシャトルの船内着のポロシャツを染めるのにも使用された「あおもり藍」、「津軽びいどろ」、ブナを使った工芸品「BUNACO」、五所川原市のもち米でつくった「干し餅」など。
- 郷土料理** 沿岸でつくられる、ウニとアワビの吸い物「いちご煮」、ホタテガイをなべのかわりにして、海の幸と出汁を入れみそをといた「貝焼き味噌」、ダイコンなどの野菜や山菜を細かく刻み、みそをといた汁物「けの汁」、もち米でつくった漬け物「すしこ」など。

北海道・東北地方

この都道府県はどこでしょう？



マグロやカツオの漁獲量が日本一。



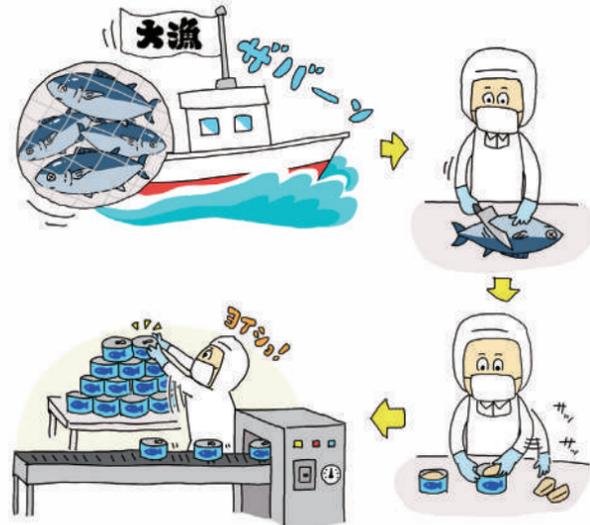
緑茶生産量日本一 緑茶消費量も日本一



荒茶の生産量▶2万9500t、全国シェア36.1% (2019年)。
茶の摘採面積▶1万4400ha (2019年)。
1年間で各家庭が緑茶に使う金額▶8807円 (2017年~2019年平均)。
日当たりがよい山の斜面を利用してさいばいされている。みかんのさいばいにも適した地形のため、温州みかんの収穫量(8万2600t、2019年)も日本一。

no.1 日本一 日本有数の漁港がある

焼津漁港には冷蔵施設や加工工場が数多くあり、各地から漁船が集まって水揚げする。とくにマグロの漁獲量(4万5123t、2018年)とカツオの漁獲量(10万8314t、2018年)は日本一。



「走る」ことを「とぶ」という



そのほかにも

かじる

ひっかく

ちゃっと

すぐ、早く

たんと

たくさん

まめったい

よく働く

ばか

すごく

製紙工場が全国最多

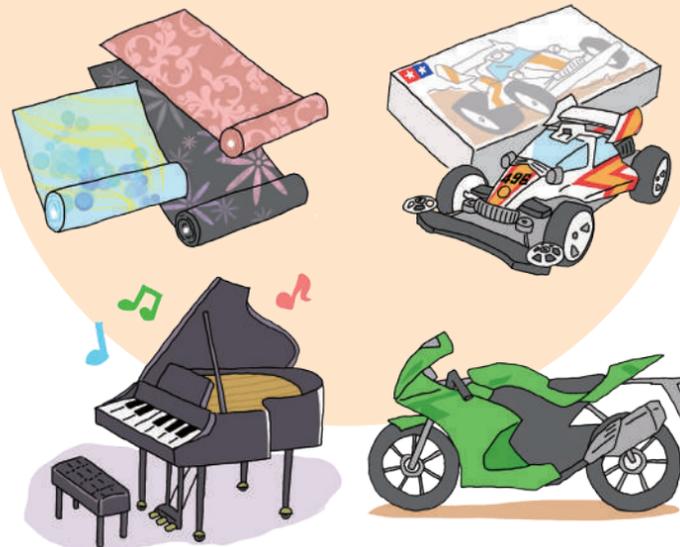


全国の主要84製紙工場のうち、最も多い10工場が県内にあり、そのうち7つの工場が富士市内に集中。紙を製造する工程には大量の水を必要とするため、富士山麓からわき出る豊富な水を使用して製紙業が発展した。



great すばらしい! ものづくり王国

県内には製造業を営む工場が集まっている。浜松市のある県西部は繊維業や楽器、オートバイなどのメーカーが集まる。県中部にはプラモデルメーカーが集まり、出荷額日本一。



ウナギ養殖発祥の地



浜名湖はウナギの養殖発祥の地といわれ、明治時代から100年以上の歴史がある。1年間で浜松市の各家庭がウナギのかば焼に使う金額は4350円 (2017年~2019年平均)で全国2位。

no.1 日本一 Jリーガーの人数が日本一多い

県内出身のJリーガーの選手の数、ワールドカップ日本代表の選手の数が日本一 (県内には清水エスパルスとジュビロ磐田、2つのJリーグチームがある)。

江戸幕府を開いた徳川家康が余生を過ごした場所

三河国(愛知県)生まれの戦国大名。戦国時代を制して江戸幕府を開き、天下を統一した。小さいころ駿府(静岡市)に暮らし、老後に江戸から駿府城にもどった。

今川義元(戦国大名、静岡市)、井伊直虎(戦国・安土桃山時代の女性領主、浜松市)、北条政子(源頼朝の正室、伊豆の国市)、本田宗一郎(ホンダ創業者、浜松市)、豊田喜一郎(トヨタ創業者、湖西市)など。



正しい

マグロなどの漁獲量が日本一

静岡県



三津 (みと) 産女 (うぶめ)
三方原 (みかたはら) 平田町 (なめだちょう)
用宗 (もちむね)

読めるかな?
難しい地名いろいろ



中部地方の中央に位置し、太平洋に面した南側は東西に約500kmの海岸線がのびる。大小の港があるが、とくに焼津漁港は遠洋漁業の水揚げ港として有名。北部は富士山をはじめ3000m級の山やまからなる山岳地帯。これらの山から流れ出た大電川や大井川、富士川の河口部に肥沃な土地が広がる。北部山岳地帯をのぞけば温暖な気候。

静岡県のここがじまん!



日本一

- 政令指定都市の面積 ▶ 浜松市1558.04km²
政令指定都市とは日本の大都市制度のひとつで、人口50万人以上の市が対象。浜松市の面積は市町村全体でも全国2位の広さ。
- ワサビの産出額 ▶ 53億円、全国シェア80% (2018年)
とくに水を利用して育てる水わさびが多い。おもな産地は、水がきれいな伊豆市周辺。
- 温室メロンの収穫量 ▶ 6650t、全国シェア38.9% (2019年)
温室栽培のマスクメロンで、出荷量や作付面積も日本一。南伊豆町の下賀茂地区は、温泉熱を利用して「温泉メロン」の栽培が行われている。
- グレープフルーツの生産量 ▶ 24.7t、全国シェア100% (2017年)
輸入が多く、国内産は静岡県だけ。
- ガーベラの出荷量 ▶ 5630万本、全国シェア41.2% (2019年)
浜松市の温暖な気候を利用して、1年を通してさいばいされている。
- 1年間で静岡市の各家庭がしらす干しに使う金額 ▶ 3796円、(2017年~2019年)
静岡市や浜松市における消費量(支出金額と購入量)は全国平均の2倍以上。
- 湾の深さ ▶ 駿河湾、最深部約2500m
- 湧水量 ▶ 柿田川湧水群(清水町)、1日の水量約110万t
富士山に降った雨や雪が地下に流れこんで地下水となり、三島溶岩流の末端にある柿田川公園付近で湧水となって現れる。
- 温泉の施設数 ▶ 1870施設 (2018年度)

- 汽水湖の周囲長 ▶ 浜名湖114km
2位は中海105km (島根県、鳥取県)、3位は風連湖94km (北海道)。

世界一

- 光電子増倍管の生産量 ▶ 世界シェア約90% (浜松市)
光電子増倍管は微弱な光を検出する高感度光センサ。国内シェアは100%。

日本初

- 河津桜発祥の地 ▶ 1955年、河津町
河津町の飯田勝美が、川沿いの雑草のなかで1mほどの原木を偶然発見し、庭先に植えたことが始まり。「白本一早く咲くサクラ」としても有名。
- インスタントコーヒー ▶ 1960年、森永製菓三島工場(三島市)で製造
お湯を注ぐだけでかんたんにコーヒーが味わえると、全国で発売された。
- 日本のF1グランプリの開催 ▶ 1976年、富士スピードウェイ(小山町)
日本で初めてF1シリーズ戦が開催された。F1グランプリはモータースポーツの最高位のレースで、各国で行われる。富士スピードウェイのホームストレートは1475mで、日本一長い直線といわれている。

ここも!

- アプト式列車 ▶ 大井川鐵道井川線
川根本町の千頭駅と静岡市の井川駅とを結ぶ鉄道路線。アプト式は、レールに歯車をかみ合わせて、急な坂を登り降りする鉄道。

気候
年平均気温 16.5℃
年間降水量 2324.9mm

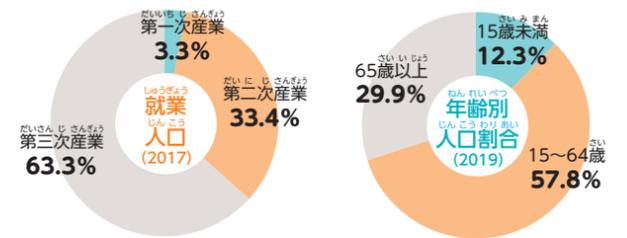
産業
県内総生産 17兆2775億円 (10位、2017年度)

おもな産業 ピアノ、プラモデル、白熱電灯器具、茶、カッター類、マグロ類、軽・小型乗用車、紙・パルプ工業など

小学校の数 508校 (2019年度)



山地が海岸近くまできているよ。



富士山と、県の地形を曲線でデザイン。親しみやすく、住みよい郷土を表すとともに、力強い団結を表現。

静岡県の基本データ

- 県庁所在地 静岡市
- 面積 7777km² (13位)
- 人口 370.9万人 (10位)
- 人口密度 476.9人/km² (13位)
- 市町村数 市23、町12、村0
- 県の花 ツツジ
- 県の鳥 サンコウチョウ
- 県の木 モクセイ

祭り

たこ揚げ合戦が名物の「浜松まつり」(浜松市)、ペリー提督来航にちなんで1934年に始まった「黒船祭」(下田市)、1年の無事に収穫を感謝する富士山本宮浅間大社の秋の例祭「富士宮まつり」(富士宮市)など。

名所

富士山の豊富な湧水が滝になる「白糸の滝」(富士宮市)、日本でただひとつの航空自衛隊のテーマパーク「エアパーク」(浜松市)、カピバラが温泉に入る姿が見られる「伊豆シャボテン動物公園」(伊東市)、天女伝説で知られる羽衣の松がある「三保松原」(静岡市)など。

名産品

駿河湾だけで水揚げされる「サクラエビ」、お土産の定番「うなぎパイ」、円形焼きが特徴の「浜松餃子」、こい目のみそを入れて、すりのぼしてつくる「自然薯とろろ汁」、竹を丸く細く加工した丸ひごを組んでつくる「駿河竹千筋細工」など。

郷土料理

サバやイワシなどを骨まで丸ごとすりつぶしてつくる「黒はんぺん」、牛すじでだしをとり、しょうゆで調味した黒い煮汁で煮る「静岡おでん」、ワサビをかす漬けにした「わさび漬」、日本最古の卵料理「たまごふわふわ」、マグロの卵をしょうゆや砂糖などで煮つけた「こす煮」など。

中部地方